

日本のモロッコ開発援助 ―その理念と現実―

密本洋海 (クロスカルチャーコース)

序章 (72)

第1章 戦後賠償から始まる日本の ODA(74)

1. 戦後日本のからの脱却
2. 日本復興―アメリカの援助と世界銀行の融資―
3. 戦後賠償としての援助
4. 日本の ODA―本格化と拡大―
5. 供与減額へ、「理念」の制定

第2章 日本の ODA とその実施体制 (82)

1. 政策的枠組み
2. ODA の形態と実態
3. 「要請」から始まる実施プロセス
4. 現地 ODA タスクフォース
5. 援助実施体制の一元化に向けて

第3章 モロッコ王国概要 (95)

1. モロッコの地理
2. モロッコの気候
3. モロッコの民族構成
4. モロッコの宗教
5. モロッコの歴史
6. モロッコの経済・産業

第4章 モロッコにおける日本の ODA (106)

1. 開発援助におけるモロッコの地政学的位置づけ
2. なぜモロッコへ ODA を実施するのか
3. モロッコの現状と開発課題

第5章 モロッコにおける ODA 実施案件からの考察 (119)

1. ODA 民間モニターによる案件視察
2. 案件①地方給水計画(B) (PAGER)
3. モロッコへの円借款と JBIC
4. 案件②-1 地方村落妊産婦ケア改善プロジェクトと②-2 地方妊産婦ケア改善計画
5. 案件③ブヤ・ハッターラ修復計画と④青年海外協力隊員活動現場
6. 草の根・人間の安全保障無償資金協力
7. 青年海外協力隊員 (JOCV) による女性のエンパワーメント
8. 案件⑤シニア海外ボランティア活動現場 (看護・小児医療)

第6章 日本の ODA の「理念」と「現実」(158)

1. 援助を行う「理念」と「現実」
2. 日本の ODA に理念はあるのか
3. ODA 予算の減額

終章 (163)

参考文献一覧 (167)